

心と心、笑顔のリレー



2025年
11月発行 VOL. 54



社会福祉法人 富山県済生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
医療福祉支援センター
TEL 076(437)1101 FAX 076(437)1131

<http://www.saiseikai-toyama.jp/>



血液内科

今年4月、当院で2年ぶりに血液内科が再開となりました。血液内科の扱う疾患は、主に白血球・赤血球・血小板の異常によるものですが、疾患の成り立ちや性格は様々であり、適切な診断が重要です。当科では骨髄穿刺を積極的に行い、他科とも密な連携をとりながら診療しています。また血液疾患は馴染みのないものも多いですが、患者さんが治療に取り組みやすくなるよう、わかりやすい言葉で説明することを心がけています。現在、良性疾患・悪性疾患問わず診療しており、外来での化学療法にも対応しています。一方、当科は1人体制ですので疾患・治療によっては対応困難なこともあります。そのような場合には富山赤十字病院や富山県立中央病院などの近隣の医療機関への速やかな紹介を行っています。北陸ではまだまだ血液内科医の数は少ないのが現状ですが、1人でも多くの患者さんのお役に立ちたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

文責／瀬尾医員



(左から) がん化学療法看護認定杉瀬看護師、瀬尾医員、森村看護師

用度課の紹介

用度課では院内の物流を管理し、医療業務が円滑に行えるよう、職場環境や保安体制を整理・管理し、療養環境の充実や安全確保に努めています。

今年度は7月より、来院者の駐車スペース確保のため、駐車場管理システム（駐車場料金制）の導入を行いました。今年9月からは、CO₂削減による地球温暖化対策として、全職員参加による省エネに取り組んでいます。空調や照明などの節電を実施し、省エネ効果が発揮されるよう、無理のない範囲でムダ・ムラを排除する活動をしています。また、事務職員の画一的イメージを払拭し、自立した職員像を目指すことを主眼に、事務職員の制服を見直し、当院で初めて私服（ビジネスカジュアル）を導入しました。来年4月から制服廃止となるため、現時点（令和7年10月）においては、制服と私服が混在する運用となっています。そして約半年間に渡ったエレベーターリニューアル工事では、工事関係者や院内との調整、来院患者さんへの対応などを行いました。

引き続き用度課として、当院にお越しになる患者さんへ、安心・安全な医療を提供出来ますよう、ソフト面・ハード面の両面において改善に取り組んでまいります。

文責／用度課長 横本 賢一



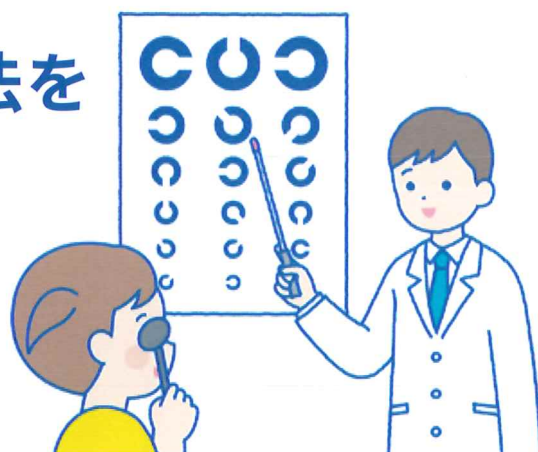
（上段左から）姉崎係長、横本課長、牧田主事
（下段左から）野村主事、岡田事務員

眼科からのお知らせ

こどもの近視予防

近視の進行を抑える方法をご存知ですか？

外遊びの減少、デジタルデバイスの使用に伴い、近視のこどもが増えています。
学童期に近視の進行を抑制することで、見え方や病気のリスクが変わってきます。



このようなお子様にオススメです

小学生以下の方で
軽度または中等度の近視の方

詳しくは、当院ホームページを
ご確認ください



新任医師のご紹介

内科(医員)

花房 隆介

はなふさ りゅうすけ

【出身大学】富山大学

【経験年数】3年

【専門分野】消化器内科

【出身地】富山

【座右の銘】有言実行

【趣味】運動、音楽、グルメ

【開業医さんへのメッセージ】

富山県民として、地域に寄り添った医療を提供できるように、努めます。

泌尿器科(医員)

室 真樹子

むろ まきこ

【出身大学】富山大学

【経験年数】5年

【専門分野】泌尿器科

【出身地】富山市

【趣味】読書

【開業医さんへのメッセージ】

地域の皆さまに安心した医療提供できるように、尽力いたします。
よろしくお願いいたします。

内科(医員)

横山 真伍

よこやま しんご

【出身大学】富山大学

【経験年数】8年

【専門分野】腎臓内科

【出身地】南砺市

【座右の銘】一燈照偶万燈照国

【趣味】料理

【開業医さんへのメッセージ】

医師としての経験は皆様にはおおよびませんが、専門分野であればお力になれるかと思えます。遠慮なくご紹介ください。よろしくお願いいたします。



院長コラム Vol.3

ゴリラに見習おう

先日、霊長類学者で前京都大学総長の山極壽一先生から、とても興味深いお話を伺った。

アフリカに棲むゴリラは、力強く荒々しい印象を持たれがちですが、実際は非常に穏やかで、争いを避ける動物だそうです。成熟した雄を中心に家族的な群れをつくり、他の個体を受け入れる柔軟さを持っています。目を合わせる、寄り添う、といった身体的なつながりで絆を保ち、相手を「個」として認め、時間をかけて信頼関係を築く。対立が起きても、「和解」や「共感」により関係を修復する。そんな社会を営んでいるようです。

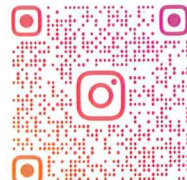
一方、ニホンザルは、厳しい上下関係による序列社会です。順位により食事や行動の順番が決まり、「毛づくろい」も上位者への服従や地位の確認を示す行為です。対立が生じると、力や立場により関係が決まり、上位が下位を支配することで秩序を保つ。つまり、「個」よりも「集団の秩序」を優先する社会です。

我々人類は、はるか昔アフリカを離れ、世界各地に広がりました。その過程で、本来持っていたゴリラのような「共感・信頼・対話に基づく関係」を少しずつ失い、代わりにニホンザルのような「序列・効率・支配の関係」が強まっていったのかもしれない。

競争や分断が目立つ現代社会を見つめるとき、私たちはもう一度、ゴリラに学ぶべきことが多いのではないのでしょうか。



院長 亀山 智樹



TOYAMA_INCHOU

Instagram
はじめました!

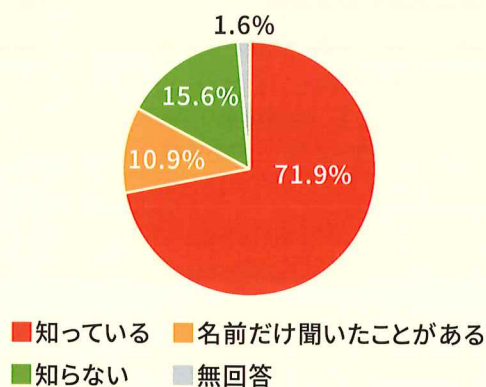
ACPに関するアンケート結果



2025年10月29日に「病院と地域ですすめるACP(アドバンス・ケア・プランニング)～アンケート調査と事例から今後の課題を探る」をテーマに、地域連携の会を開催いたしました。
開催日には多くの皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。活発な意見交換が行われ、ACPについて改めて考える機会となりました。事前アンケートの結果を紹介いたします。

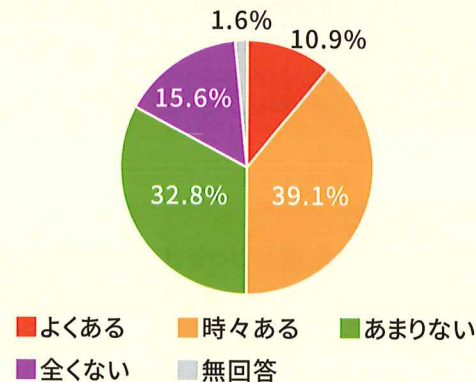
1. ACP (アドバンス・ケア・プランニング) をご存じですか？

知っている	46	71.9%
名前だけ聞いたことがある	7	10.9%
知らない	10	15.6%
無回答	1	1.6%



2. ご自身の診察・看護の場面でACPについて話し合う機会がありますか？

よくある	7	10.9%
時々ある	25	39.1%
あまりない	21	32.8%
全くない	10	15.6%
無回答	1	1.6%

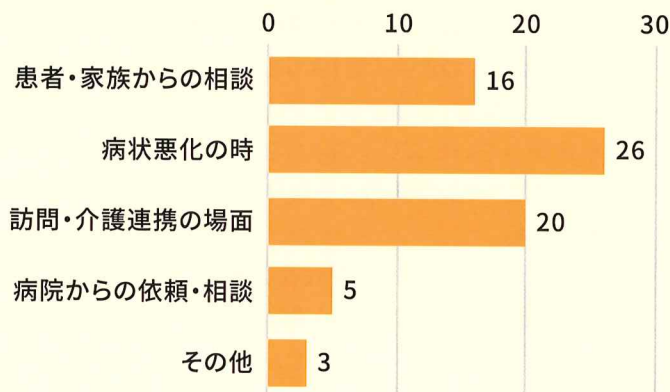


【2で「ある」「時々ある」と回答した場合】

2-① 話し合いのきっかけになるのは、どのような場面、タイミングですか？(複数回答可)

患者・家族からの相談	16
病状悪化の時	26
訪問・介護連携の場面	20
病院からの依頼・相談	5
その他	3

〈その他〉 退院後の初回訪問で在宅医とともに行うことが多い
退院前カンファレンス、担当者会議
常に意識してやっている



アンケート配布数 276

開業医:214枚、訪問看護ステーション:27枚、地域包括支援センター:35枚

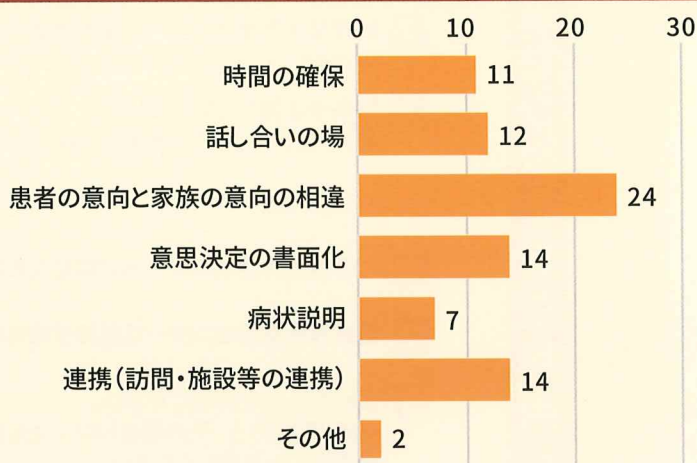
回答数 64 回答率 23.2%

【2で「ある」「時々ある」と回答した場合】

2-② ACPに関して困っていることや不安なことはありますか？(複数回答可)

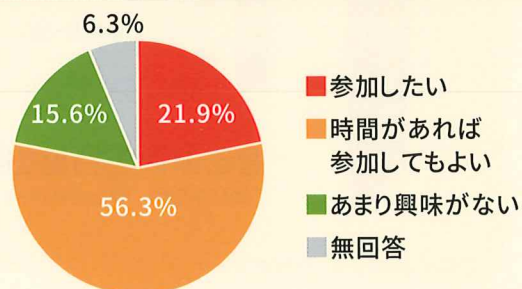
時間の確保	11
話し合いの場	12
患者の意向と家族の意向の相違	24
意思決定の書面化	14
病状説明	7
連携(訪問・施設等の連携)	14
その他	2

〈その他〉 確認の時期、タイミングに迷う



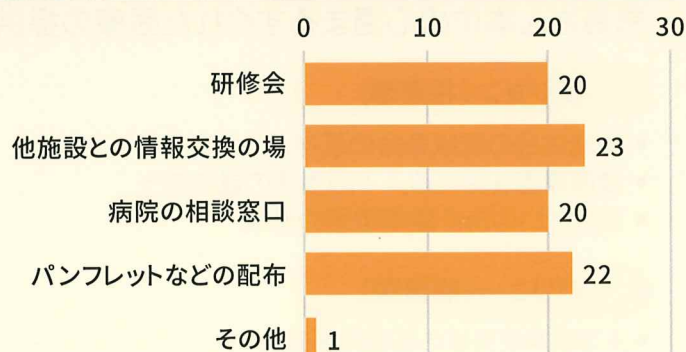
3. 地域連携の会や研修会などでACPに関する情報提供や意見交換の場があれば参加したいですか？

参加したい	14	21.9%
時間があれば参加してもよい	36	56.3%
あまり興味がない	10	15.6%
無回答	4	6.3%



4. 今後、病院からどのような支援や情報提供があればACPに取り組みやすいと思いますか？(複数回答可)

研修会	20
他施設との情報交換の場	23
病院の相談窓口	20
パンフレットなどの配布	22
その他	1



5. その他の皆さまからのご意見

- 退院前のカンファレンス時に、入院中に確認したACPを、共有していただきたいです。
- ACP開始時点の書類(テンプレートなど)が在れば、活用できるとおもいます。
- 病院に限らず、すべての職種の方々の理解と協力が、必要ではないでしょうか。

当院にご紹介いただく先生方へ……

医療福祉支援センターでは、ご紹介頂く患者さんの診察予約、検査予約を行っております。予約を行うことで、診療手続きが簡素化され、速やかな診察が可能となります。

診察予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
(直接、診察申込書をFAXしていただいても結構です。)
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
※医療福祉支援センターで判断ができない場合は担当医師に確認が必要なため、相談の上、予約させていただきます。
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

検査予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

令和7年11月以降
CT・MRI検査予約枠
変更となりました。



検査予約時間	CT	10:00～11:30 (火・金以外)	心臓CT	月 14:00～15:00
		13:30～16:30 (月・水)	火 14:00～14:30	水 14:00～15:00
	RI	8:30～11:30 (月～金)	木 14:00～14:30	金 14:00～15:00
	MRI	9:30～16:00 (月・水)		

富山県済生会富山病院 医療福祉支援センター

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL 076-437-1101(直通) FAX 076-437-1131(直通)

ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成

バリュー(価値観)

- 生活困窮者支援の積極的推進、ソーシャルインクルージョン、誰一人取り残さず寄り添う心
- 地域住民、医療・看護・介護関係者に信頼され選ばれる、持続可能な病院
- 予防医学、救急・急性期医療、回復期リハビリテーション、慢性期医療、訪問看護、在宅医療支援、大規模災害時までカバーする切れ目のない医療体制の構築
- 働く職員の笑顔があふれる、働きやすい、働きがいのある病院

患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます

①患者さんの権利

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利
- プライバシーが守られる権利

②患者さんの責務

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 診療行為に協力する責務
- 療養に専念する責務
- マナーや規則を守る責務
- 医療費を支払う責務